



都祁水分神社 (奈良市)



都祁水分神社は、奈良

市の南東部に鎮まりま
す。大和高原から流れ出

す木津川上流の布目川や
大和川上流の初瀬川の水
を司る神社で、平安時代
の「延喜式神名帳」に
記載された式内大社で、
「大和四水分」の一つと
されます（他は吉野、葛
木、宇太）。

社伝によりますと、飛
鳥時代に創建され、最初

の鎮座地は、ここより3
か度真っ直ぐな坂道の参
道に鎮まる都祁山口神
社の地でした。平安時代
の971（天禄2）年に
現在地へ遷座しました。
祭神は、速秋津彦神、
天水分神、国水分神の
3柱で、杉木立に囲まれ
たこぢんまりとした境内
に鎮座しています。

鳥居をくぐると、緩や
式です。本殿の前には、

（住所）奈良市都祁友田町182
（祭神）速秋津彦神、天水分神、国
水分神
（交通）名阪国道道の駅針テラス
から車で南西に約10分

（拝観）境内自由
（駐車場）あり（お問い合わせくだ
さい）
（電話）0743・82・0097

一对の狛犬があります。
頭が小さく、どっしりと
した体つきで、鎌倉時代
末期の作とされていま
す。

社地は、奈良時代に聖
武天皇が行幸した堀越
頓宮の伝承地で、鳥居の
左方にその石碑がありま
す。

平安時代には、伊勢斎
宮の皇女が宿った都介頓
宮の跡でもあります。

（奈良まほろばソムリエ
の会会員 坂口隆信）

古都の清流司る式内大社